



クラブを成功に導く
リーダーシップ：
奉仕プロジェクト委員会編

2019-22 年度

クラブを成功に導く リーダーシップ: 奉仕プロジェクト委員会編



目次

役割と責務

責務.....	2
委員会との協力.....	3
地区研修・協議会の前に考えておく質問.....	5

プロジェクトの計画

ロータリーの奉仕の機会.....	6
奉仕プロジェクトの実施.....	8
ロータリーの補助金とプログラム.....	11
募金イベントの企画.....	13
ロータリー標章の使用.....	15

リスク管理

プロジェクトのリスク管理.....	17
青少年プログラムのためのリスク管理.....	18

「クラブを成功に導くリーダーシップ:奉仕プロジェクト委員会編」(2018年版)は、2019-20年度、2020-21年度、2021-22年度のクラブ奉仕プロジェクト委員長用です。この手引きに収められた情報は、ロータリーの定款と方針文書に基づいています。詳しい方針については、これらの文書を直接ご参照ください。定款と方針文書に変更が加えられた場合、その変更が優先されます。

お問い合わせ

国際ロータリー
研修・開発担当部
learn@rotary.org

委員会との協力



クラブ奉仕プロジェクト委員長は、地元地域や海外の地域のニーズを調べ、これに取り組むために、奉仕プロジェクトを立案・実行します。

委員長の責務	
すべての委員会に共通	クラブ奉仕プロジェクト委員会
地区研修・協議会に出席する。	プロジェクトを計画、実施、評価する。
会長エレクトの協力を得て、委員会のメンバーの人選とオリエンテーションを行う。	地域社会におけるクラブのインパクトを高めるプロジェクトの機会の探す。
必要に応じて小委員会を設ける (メディア対応、ソーシャルメディア、広告／マーケティング、特別イベントなど)。	プロジェクトの成果を最大にするために、他団体、ボランティア、委員会メンバーと協力する。
定期的に会合を開き、活動を計画する。	プロジェクトのための資金調達を指揮する。
クラブ目標の達成に役立つ委員会目標を設定し、目標の達成度を随時確認する。	プロジェクトに影響を及ぼす可能性がある賠償責任について検討する。
委員会の予算を管理する。	公共イメージ委員会と協力してプロジェクトの広報を行う。
クラブのほかの委員会と協力する。また、複数クラブによる合同活動や合同取り組みの取り組み事業においては、地区委員会と協力する。	プロジェクトにおいてほかのクラブと協力する。
委員会の最新の活動状況をについて、クラブの会長、理事会、クラブ全体に随時報告する。	ロータリーショーケース にクラブのプロジェクトを掲載する。
委員会に対するクラブの要望を見極める。	

クラブ奉仕プロジェクト委員長として、前任の委員長と一緒にクラブ細則や戦略計画を見直しましょう。必要であれば、委員の人選も行います。委員長は、奉仕プロジェクトについて助言や情報を提供するとともに、委員会の管理も行うことになります。

多くのクラブは、委員の任期を3年間としています。新しい委員を選んだり、欠員を補充する必要がある場合は、会長エレクトと協力して、以下の中から少なくとも1つの経験を有する人を見つけましょう。

- 地域社会の開発
- 海外留学、海外旅行
- 社会奉仕ボランティア

プロジェクト開発においては、そのほかの委員会との協力方法を検討しましょう。例えば、地区ロータリー財団委員会とともにプロジェクトにロータリーの補助金を利用できるかどうかを確認したり、クラブ公共イメージ委員会とともにプロジェクトや募金イベントの周知や市民の参加促進を図ったり、地区会員増強委員会とともに奉仕プロジェクトに協力してくれる学友を見つけたりできるでしょう。さらに[地区国際奉仕委員長](#)から、地域社会の調査やグローバル補助金プロジェクトの計画に関する情報や助言を得ることもできます。

委員長は、委員がもつスキルと関心を考えた上で、責務を割り当てたり、役割の一部を委任したりします。委員の自覚と意欲を引き出すために、以下を行いましょう。

- 委員会の活動と目標を委員に伝える
- 新しい委員と経験豊かな委員をペアを組んでもらい、協力して活動してもらう
- ほかクラブの委員会とのコミュニケーションを促し、情報交換や協力を促す
- 地区の活動や会合について委員に知らせる
- 資料や情報を共有する

クラブの他の委員会との共同作業を通じて、グループとしてのインパクトを最大限に高めましょう。クラブの理事会は、継続的な会話を行うための絶好の場です。

目標の設定

委員長の役割は、クラブ戦略計画を支える年次目標を委員会が設定し、達成できるようにすることです。また、地区研修・協議会で、次年度会長やほかのクラブリーダーと共に目標を設定します。会長と幹事は[ロータリークラブ セントラル](#)に目標を入力できます。

効果的な目標

年次目標は、委員の能力やクラブの関心を反映したものとし、目標は、全員の意見を取り入れた上で設定し、測定可能かつ達成可能で、達成期日を定めたものとしてください(例:「少なくとも100名のボランティアが参加し、300名の市民に恩恵を与える、持続可能な奉仕プロジェクトまたは活動を実施する」など)。

行動計画

委員と協力して、それぞれの年次目標の達成に必要な一連の行動計画を立てます。各ステップでは、

- 実行責任者を決めます。
- 期日を設定します。
- 進行状況と成功を測る方法を決めます。
- 既に持っているリソースを考慮に入れ、必要なすべてのリソースを入手します。
- 定期的に進行状況を確認し、必要に応じて目標を調整します。

モチベーション

委員長の役割の一つは、委員のやる気を保つことです。委員はボランティアであることを忘れないことが大切です。ボランティアのモチベーションを保つための要素には、以下のようなものがあります：

- 達成可能な目標。目標達成によってクラブと地域社会に恩恵がもたらされるという認識。
- 親睦とネットワークづくりの機会
- 各委員の知識や経験を活かす機会
- 楽しく活動できること、活動に充実感を感じることに

予算

7月1日に先立ち、前任の委員長および会計とともに委員会に必要な資金を検討し、クラブの予算に含めることを求めます。計画中の募金活動があれば、それも考慮に入れましょう。

委員会の予算の使用状況を監督し、報告書を作成します。クラブ会計と定期的に会合することで、予算面で問題が生じた場合に速やかに対応することができます。

地区研修・協議会の前に 考えておく質問



地区研修・協議会は、ほかの新任のクラブリーダーと意見を交換するための絶好の場です。以下の質問を研修の準備にお役立てください。

クラブ奉仕プロジェクト委員会の責務は何ですか。委員長としてのあなたの責務は何ですか。

クラブ目標のうち、委員会が担当するのはどの目標ですか。

地域社会に最大の恩恵をもたらすプロジェクトはどのようなものを、どのように判断しますか。

どのような種類のプロジェクトがクラブにとって重要ですか。また、それはクラブのビジョンや文化を反映したものですか。

それぞれの委員はどのような活動を担当しますか。それらの委員をどのようにサポートしますか。

クラブのプロジェクトの立案と広報のために、クラブのほかの委員会や地区委員会とどのように協力しますか。

ロータリーの奉仕の機会



ロータリークラブのプロジェクトは、世界中の地域社会にインパクトを与えると同時に、会員がつながりを広げ、楽しみながら奉仕する機会となります。クラブの全会員がプロジェクトに関与することで、全員がクラブの成功に寄与できます。

プログラム学友、若いリーダー、友人、家族、地元団体、同僚など、多くの人にプロジェクトに参加してもらうことで、活動がもたらすインパクトが高まるとともに、ロータリーの活動内容を知ってもらうことができます。これらの人たちが持つ専門知識や経験も、プロジェクトの改善につながるでしょう。

ロータリーは、人道的活動、文化交流、教育プログラムなどを幅広く提供しており、以下の[五大奉仕部門](#)を通じて、クラブや地区による奉仕目標の達成を支えています：

- クラブ奉仕
- 職業奉仕
- 社会奉仕
- 国際奉仕
- 青少年奉仕

地元の地域社会で実施可能なロータリーのプログラムや活動について、会員が知識を備えておくことが大切です。

- [ポリオプラス](#)：世界的なポリオ撲滅活動を支えるロータリーのプログラム
- [インターアクト](#)：ロータリークラブが提唱する12～18歳の青少年を対象とした奉仕クラブ
- [新世代交換](#)：職業または人道的奉仕に重点を置き、柔軟な内容で実施できる、二つのロータリー地区間における大学生および30歳以下の成人向け交換プログラム
- [プロジェクトフェア](#)：国際プロジェクトのパートナーを探すことを目的に、地元の奉仕活動について紹介するためのロータリー地区主催の地域イベント
- [ローターアクト](#)：ロータリークラブが提唱する18～30歳を対象とした奉仕クラブ

- [ロータリアン行動グループ](#): 特定の分野における共通の関心や経験を有し、その分野におけるプロジェクトに関してクラブや地区を支援する、ロータリアン、ローターアクター、その家族、プログラム参加者、ロータリー学友から成る国際的なグループ
- [ロータリー地域社会共同隊](#): スポンサーである地元のロータリークラブと協力し、地域社会の調査に協力したり、奉仕プロジェクトの企画や実行を担う、ロータリアンではない地元市民から成るグループ
- [ロータリー親睦活動](#): 共通の趣味や職業上の関心を持つロータリアン、ローターアクター、その家族、プログラム参加者、ロータリー学友から成る国際的なグループ
- [ロータリー友情交換](#): 新しい文化の探求と友情の構築を重視するロータリアンとその友人のための国際交換プログラム。国際プロジェクトのための海外の協力者とのつながりを築くためにも役立つ。
- [ロータリー平和センター](#): 複数あるロータリー平和センターのいずれかで平和と紛争解決について学ぶための国際教育プログラム。この分野における修士号または専門能力開発修了証を取得することを目的とする。
- [ロータリー青少年交換](#): 15～19歳の学生を対象とした、国際理解と平和を促進するための国際交換プログラム
- [ロータリー青少年指導者養成プログラム\(RYLA\)](#): リーダーシップ能力と世界市民としての自覚を養い、人間として成長することを目的とする、14～30歳の参加者を対象とした研修プログラム

奉仕プロジェクトの実施



委員会の役割は、クラブのプロジェクトを主導し、地域社会に変化をもたらすことです。プロジェクトの実施を通じて、会員同士の交流やネットワークづくりの機会が生み出され、ロータリーへの積極的参加も促されます。

プロジェクトでは、利用可能なリソースと手段を駆使して、活動スケジュールの立て、地域社会の調査を実施し、進捗を測るための基準を定めましょう。奉仕プロジェクトを計画、実行する際は、以下のプロセスを参考にしてください。

1. 現状の評価

地域社会が現在抱えているニーズを調べ、地元の資産を活用して、持続的な変化を生み出すプロジェクトを立案してみましょう。まずは、地域社会の調査を実施して、地域社会の資産とニーズを調べます。「[地域調査の方法](#)」には、利用可能なさまざまな調査方法が紹介されています。グローバル補助金を申請する場合、地域社会の調査結果を申請書に含める必要があります。

2. プロジェクトの選定

調査の結果を基に、奉仕プロジェクトを選びます。この際に考慮すべき点には、地域社会から得られるサポートと関与、クラブの過去の奉仕活動歴、利用可能なリソース、プロジェクトの期間、持続可能性などがあります。

3. 計画の立案

目標を設定し、行動計画と予算を立てて、どのような賠償責任からの保護が必要かを判断します。プロジェクトを選んだ後、クラブ理事会および地区職員と協力して、資金調達やプロジェクト立案に役立つ資料や協力してくれる人材について検討します。活動分野において専門知識や経験をもつロータリーファミリー（ロータリアン、ローターアクター、学友など）を探し、協力してもらうために、[地区国際奉仕委員長](#)に連絡を取るとよいでしょう。

4. プロジェクトの実行

プロジェクトの広報、資金調達、活動の管理を行います。

5. プロジェクトの評価

上手くいったこと、そうでなかったことを振り返り、記録に残します。これを、将来のプロジェクトの計画プロセスに役立てることができます。

プロジェクトの計画に役立つリソース

- [ロータリーの重点分野](#)ガイド：各分野のプロジェクト事例を紹介しています。

- [ラーニングセンター](#):ロータリー重点分野コースには会員教育に役立つプレゼンテーションが収められています。
- [ロータリーショーケース](#):現在および完了したプロジェクトを紹介。プロジェクト計画の際の参考とすることができます。
- My ROTARYから、六つの重点分野に関するプロジェクト戦略と事例を入手できます:
 - [基本的教育と識字率向上:プロジェクト戦略](#)
 - [経済と地域社会の発展:プロジェクト戦略](#)
- [プロジェクトの流れ\(ライフサイクル\)に役立つリソース](#)のページには、奉仕プロジェクトの計画と実行に関するアイデアやリソースが掲載されています。

プロジェクトの計画・実行にあたっては、さまざまな人やグループの協力を得ることができます。

- 地区国際奉仕委員長、奉仕プロジェクトマネージャー
- ロータリアンとその家族・友人
- 地元団体
- ローターアクトクラブの会員
- ロータリーの学友
- インターアクトクラブの会員、ロータリー青少年交換学生、ロータリー青少年指導者養成プログラム(RYLA)の参加者
- ロータリー地域社会共同隊(RCC)のメンバー
- そのほかのロータリークラブの会員
- ロータリアン行動グループとロータリー親睦活動グループ

ほかのロータリークラブへの連絡

ロータリーの指針では、ロータリアンが営利目的で以下の資料を利用することを禁じています:

- 公式名簿
- クラブまたは地区の名簿
- そのほか、ロータリーに関するプロジェクトまたは活動に関連して集積された、あらゆる名前のデータベースあるいはリスト。

さらにロータリアンは、これらリソースを営利目的のために、他者に対して利用可能とすることが禁じられています。この指針をクラブ会員にも伝え、ロータリーの資料の濫用を防ぐようにしてください。

場合によっては、ロータリークラブは、ロータリーの運営と活動に関係のない事柄について、次の条件が満たされている限り、ほかのクラブに連絡することができます：

- ほかのクラブへの連絡に先立ち、地区ガバナーからの許可を得た場合。地区ガバナーに対して、連絡の目的を明確に伝える必要があります。
- ほかのロータリークラブまたは自クラブの会員以外のロータリアンからの経済的支援を直接求める前に、国際ロータリー (RI) 理事会からの許可を求める必要があります。

ロータリーの補助金とプログラム



ロータリー財団は、補助金の提供を通じて、ロータリーのプロジェクト、奨学金、職業研修プログラムを幅広く支援しています。

地区補助金

地区補助金は、小規模かつ短期の活動に資金を提供するもので、人道的プロジェクト、奨学金、職業研修チームなど、地元や海外の地域社会のニーズに取り組む活動を支援します。

グローバル補助金

グローバル補助金は、ロータリーの六つの重点分野の少なくともひとつで、持続可能かつ成果が測定可能である大規模な国際的活動を支援します。人道的プロジェクト、職業研修チーム、大学院レベルの奨学金のために活用でき、申請するには海外の協同提唱者を見つける必要があります。協同提唱者を見つける方法は数多くあります：

- [ロータリーのアイデア応援サイト](#)で、協力者を探しているクラブを検索する。
- プロジェクトをアイデア応援サイトに掲載し、協力者を募る。
- [地区国際奉仕委員長](#)に問い合わせ、六つの重点分野における専門的スキルや経験をもつ地元のロータリーファミリー（ロータリアン、ローターアクター、学友など）とのつながりを築く。
- 地区行事や国際会合で、ロータリー会員のネットワークを築く。
- ロータリーが開催する[プロジェクトフェア](#)に参加する。
- クラブが提唱しているローターアクトクラブと協力する。
- [フォーラム](#)またはソーシャルメディアを通じて、ほかのフェロー会員とつながる。

地域社会の調査

支援する地域社会の強み・弱み・ニーズ・資産を調べることは、成果あふれる効果的なプロジェクトを計画するだけの重要な第一歩です。この調査を通じて、地元の人びととの協力関係が築かれ、地域社会の形成に関わる意思決定に住民が関わることとなり、地域の人びとの参加が促されます。最も重要なことは、地域社会の調査の結果に基づくことで、プロジェクトの持続可能性が高まるということです。

人道的プロジェクトまたは職業研修チームを支援するためにグローバル補助金を申請するクラブと地区は、まず地域社会の調査を行ったうえで、[補助金センター](#)にあるグローバル補助金申請書とともに地域社会の調査結果を提出する必要があります。

調査の実施には、地区補助金の資金を利用することができます。「[地域調査の方法](#)」は、住民会合、アンケート調査、インタビュー調査、フォーカスグループ(座談会)など、地域社会の資産やニーズを調べるためのアイデアや手法が紹介されています。

募金イベントの企画



クラブプロジェクトの資金調達を目的とした募金では、クラブのほかの委員会と協力しましょう。募金行事や募金キャンペーンの成功が、プロジェクトの成功につながります。

1. **募金の目標額を決める。**どのくらいの資金が必要なのかを基に目標額を設定し、それを募るのに適した行事を計画します。
2. **予算を立てる。**行事用にクラブの予算からいくら使えるかを決めます。行事にかかる費用と予想収益を決定します。
3. **募金目標の達成に必要な人員を特定する。**募金行事の企画・実行に必要となる人数を決定します。
4. **必要な諸手配を行う。**イベント開催の日時・場所を選定します。
5. **リスクを最小限に抑える。**イベント活動がクラブの損失や損害賠償につながる可能性を評価し、それを回避する方法を決定します。
6. **ボランティアを組織する。**募金行事をとりまとめる委員会を設置し、ボランティアに役割を割り振ります。地域社会の人びとも関わってもらうとよいでしょう。
7. **広報する。**クラブ公共イメージ委員会と協力して、地域社会内でどのような人びとを対象にするのかを決め、行事の告知・周知の計画を立てます。必要に応じてメディアを巻き込みます。[ブランドリソースセンター](#)からさまざまな素材をダウンロードできます。
8. **募金行事を開催する。**募金状況をボランティアに随時確認してもらいます。成功点と課題を書き留め、評価段階でそれらについて話し合います。
9. **資金を適切に管理する。**募金や資金調達に先立って資金管理の方法を決めておき、イベント専用開設した口座に資金を入金します。クラブと寄付者に対して、資金の用途を報告します。
10. **ボランティア、寄付者、スポンサーへの感謝を示す。**個人宛ての礼状、写真、さらに適切であれば表彰状で感謝の意を示します。
11. **事後評価を行う。**成功点と課題について話し合います。気づいた重要な点を記録し、将来の募金活動に活かせるようにします。
12. **継続性を確保する。**未解決の問題や次年度にも続く事柄があれば、次年度の会計担当者および募金運営担当者と話し合います。

[ブランドリソースセンター](#)にある「[イベント計画ガイド](#)」で、さらなるイベントのアイデアや推進用の素材を見つけることができます。また、[ロータリーアイデア応援サイト](#)を通じて資金やボランティ

アを募ることができます。

ロータリー標章の使用



ロータリーの公式ロゴは、私たちがロータリーであること、および世界中でより良い地域社会を築くことへの信念を示す重要なマークです。国際ロータリーは、世界のロータリアンのために、商標とサービスマーク（「ロータリー標章」とも言う。「ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド」およびロータリー章典を参照のこと）を所有しています。

ロータリー標章を複製する際は、[ボイスとビジュアルアイデンティティのガイド](#)および[ロータリー章典](#)（第33条）に従ってください。クラブは、ロータリー、ローターアクト、その他のロータリープログラムのロゴを[ブランドリソースセンター](#)でダウンロードできます。

名称に関するガイドライン

活動、プロジェクト、プログラム、ウェブサイト、出版物に名前を付ける場合、ロータリークラブまたはそのほかのロータリー団体は、単に「ロータリー（またはRotary）」だけでなく、その団体の名称を使用しなければなりません。例えば、プロジェクトの名称にはクラブ名を付加することができます。

適切な名称の例：

- エバンストン・ロータリークラブ清掃プロジェクト
- マウンテンシティ・ロータリークラブ・センテニアルパーク
- www.anycityrotaryclub.org

クラブの活動、プロジェクト、プログラムと関連してクラブが発行する通信物や資料には、クラブ名入りロゴ（公式ロゴとクラブ名を組み合わせたもの）を使用する必要があります。クラブのプロジェクト名に関する具体的な指針は、ロータリー章典をご確認いただくか、[クラブ・地区支援担当職員](#)にお問い合わせください。

募金用商品につけるロータリー標章

徽章使用の免許を取得した業者約160社が、ロータリー標章をあしらった商品を製造、販売できます。[公式免許取得業者](#)のリストは、My ROTARYをご参照ください。また、これらの業者が提供している各種オンラインサービスは、[ROTARYマーケットプレイス](#)をご覧ください。ロータリー標章入りの商品の製造・販売ができるのは、免許取得業者のみとなります。

クラブが商品販売を通じてプロジェクトの資金調達を行うことを考えている場合、ロータリーの公式免許業者から商品を購入する限り、一定期間、ロータリー標章入りの商品を販売できます。その際、以下の情報を商品に含める必要があります：

- ロータリークラブ名またはロータリークラブ入りロゴ
- 募金行事またはプロジェクトの名称
- プロジェクトの実施日

長期的な資金調達プロジェクトで商品の販売を希望するクラブは、免許取得を申請する必要があります。また、クラブが、免許を受けていない業者からの商品購入を希望する場合、その業者が国際ロータリーから直接、ロータリー標章の使用許可を得る必要があります。商品へのロータリー標章の使用に関する質問は、rilicensingservices@rotary.org、までお送りください。

プロジェクトのリスク管理



例会中や募金活動中、または若い人たちがかわる活動中には、クラブは常にリスクを管理する責任があります。ここでいう「リスク管理」とは、起こりうる損害の原因を事前に突きとめ、それを未然に防いだり、金銭的損失を軽減する方法を決めるために事前に対策をとることです。

リスク管理には以下が含まれます。

- 「どんな問題が起こり得るか」という視点に立って活動を再点検すること
- リスクを軽減するために活動に変更を加えること
- 契約書や合意文書を作成し、関係者全員の役割と責任範囲を明確にすること(地元の弁護士に相談して法的文書を作成すること)
- 既存の方針、手続き、ガイドラインを遵守すること

事前の対策で、損失の影響を抑えることができます。奉仕プロジェクト委員長は、リスク管理に対するクラブの意識を高めることのできる立場にあります。リスクを認識し、これを管理することで、ロータリアン、プログラム参加者、クラブの資産を保護することができます。

賠償責任からクラブを守るために、法律や保険の専門家から助言を受けることをお勧めします。例えば、クラブ(またはその活動)を法人化したり、適切な賠償責任保険を付保することなどについて、専門的な助言を求めましょう。

クラブが保険に加入していない場合、加入をご検討ください。詳しくは[ロータリー章典](#)の72.050.節を参照してください。

青少年プログラムのための リスク管理



教育、職業研修、人道的活動の参加者のけが、病気、虐待などに対処できるよう、起こり得るさまざまなリスクを理解しておくことは、とても重要です。こうしたリスクを減らすと同時に、青少年を守るために、地区は以下の手続きを盛り込んだ危機管理プログラムを立案すべきです：

- 肉体的、性的、精神的な虐待および嫌がらせを予防し、実際に生じた場合にそれに対処するための地区青少年保護方針を作成する。
- プログラムに関与する期間中、プログラムに参加する大人と青少年のための行動基準を確立する。また、青少年との活動を始める前に、成人の審査を行う。
- 青少年の旅行について明確な方針と手続きを設け、親や保護者に情報を伝えるための体制を整えておく。
- 未成年が参加し、地元以外の場所での活動や宿泊を含む活動について、ガバナーから承認を得る。
- 地区の指針が、各青少年プログラムについて理事会が定めたロータリーの指針に沿っていることを確認する。
- 青少年の活動に伴うリスクや保険のニーズについて、以下の点を考えておく：
 - ― 誰かがけがをした場合、どう対処するか
 - ― 自然災害が発生したら、どう対処するか
- 起こり得る損失を最低限に抑えるため、以下のことを行う：
 - ― 十分な責任保険への加入
 - ― 災害非常時の計画と、プログラム中における少なくとも一度の演習実施
 - ― プログラム実施中における、安全な行為と行動についての教育

上記の手続きは、青少年交換に参加するための地区認定の条件となっているだけでなく、インターアクト、RYLA、そのほかの青少年活動に参加する地区に推奨されているものです。

現在加入契約している保険が青少年プログラムを十分に補償するものであるかどうかを調べるため、クラブと地区は必ず保険代理店に連絡を取るようにしてください。多地区あるいは多クラブ合同でプログラムを主催する場合、保険に関する問題は複雑なものとなります。これは、各組織により保険の適用範囲が異なるためです。

青少年と主催者を含むすべての参加者は、プログラム参加中に必要な適用範囲を備えている健康保険と生命保険に加入していることを確認してください。居住地外での適用を制限している健康保険が多いため、旅行中、あるいは自宅から離れて暮らしている場合は、特にこの点に注意を払う必要があります。このような場合、参加者は、以下のような医療や事故に適用される

旅行保健に加入しなければなりません。

- 医療費の払い戻し
- 遺体送還費
- 緊急事態の避難費用
- 事故死または手足切断

協力団体との同意や保険業者と加入契約を結ぶ前に、法律顧問にご相談ください。このような契約には、責任の免除、請求が生じないことの補償、または当事者の責任を免除してクラブや地区に責任を転嫁する条項が含まれていることがあります。国際ロータリーは、参加者および主催者のいかなる病気、けが、あるいは物的損害に対しても一切の責任を負わないことにご注意ください。

[ラーニングセンター](#)で、効果的な青少年プログラムのための指針と青少年プログラム参加者の保護に関するコースをご参照ください。

青少年と接する際の行動規範に関する声明

国際ロータリーは、ロータリーの活動に参加するすべての青少年のために安全な環境をつくり、これを維持するよう努める。ロータリアン、その配偶者、その他のボランティアは、接する児童および青少年の安全を考え、肉体的、性的、あるいは精神的な虐待から彼らの身の安全を守るため、最善を尽くす責任がある。